

## 1. 今年度の取組み方針

### (1) 自然災害被災者支援活動

能登半島地震被災者支援活動について、金光教首都圏災害ボランティア支援機構と共同で、現地の状況の変化を踏まえ対応していく。被災者の寄り添い支援を中心に、現地のニーズや会員、支援者がそれぞれの持つ特技やアイデアを実現化していく。

### (2) 防災教育活動

防災出前講座については、継続して全国展開できるよう努める。まだ開催出来ていない近畿以西、東海地方、北陸地方への展開を図る。また、大雨・洪水・土砂災害をテーマにして開催ができるようカリキュラム整備を進める。

### (3) 組織基盤の充実

広報活動による会員サービスおよび対社会へのタイムリーな発信を行う。

情報の電子化、当法人が保有する電子データの維持管理と活用しやすい仕組みづくりを進める。

## 2. 事業計画

### (1) 自然災害被災者支援活動

#### 1) 能登半島被災者支援

##### ① 被災現場の片付け支援

能登半島地震や豪雨災害による被災地に出向き、現場のニーズに合った支援活動を行う。当面、七尾市中島町の小牧集会所に拠点を置く「被災地NGO協働センター」や社協等の活動に参加する。

##### ② イベント開催

仮設住宅の住民への寄り添い支援として年間10回程度のイベントを開催する。

#### 2) 水害被災者に対するタオルの備蓄と支援

タオル支援のニーズ調査に関しては、災害の発生情報に注視し、被災地の災害ボランティアセンター開設が遅れている場合には、被災地の社会福祉協議会に対してニーズ調査を行う。

#### 3) 自然災害情報連絡員制度の充実

災害発生時の対応行動と意識のブラッシュアップ研修を6月と12月の2回実施する。この研修は、「被災者支援活動から学ぶ」と「HPAオンライン防災講座とタイアップした内容」で充実をはかる。

#### 4) 他団体の活動支援

現在支援している団体への継続支援、他協力団体等で新たに支援する活動があれば追加する。

### (2) 防災教育活動

#### 1) 防災出前講座の展開

・年間4回程度開催する。

## 2)防災出前講座のブラッシュアップ

2024年12月までに実施した防災出前講座10回分のテキスト・プレゼン資料を見直し、追加、削除、アップデート、及び受講対象者にカスタマイズすべき資料を検討する。

## 3)洪水・土砂災害カリキュラムの確立

今年度予定されている防災出前講座に向けて、洪水・土砂災害を内容としたカリキュラムを整備する。

## (3)組織基盤の充実

### 1) 会員拡大

### 2) 広報活動

#### ①ひかり新聞

・2025年の発行は4月(No.52)、8月(No.53)、12月(No.54)を予定する。

#### ②ホームページ・Facebook

・活動報告やイベント情報を定期的に更新し、タイムリーな情報を発信するよう心掛ける。

### 3)情報の電子化の取組み

・法人が所有する電子データを関係者間で共有できる仕組みを構築する。